

要旨

オクタリニ・アネイケ。2016。河合勇人・山室大輔監督の『ぴんとこな』のドラマにおいて印象された権門の家族のもとに歌舞伎界の継承伝統。ブラウイジャヤ大学、文化学部、日本文学科。

指導教官：(1)ナディア・インダ・シャルタンティ(2)デウィ・プスピタサリ

キーワード：ドラマ、文献人類学、歌舞伎の継承、*mise-en-scene*。

本研究では日本に歌舞伎の権門の家族のもとに歌舞伎界の継承伝統について研究する。歌舞伎の継承では権門の家族の歌舞伎役者は御曹司という息子に決まっている。もしその家族は息子を持っていない、あるいは娘しか持っていないとなったら、その家族は息子の養子を探し、あるいは娘と歌舞伎の才能を持っている男子を結婚させる。その研究のため、歌舞伎の後継者として一人子の男子と女子を持っている二つの家族だという『ぴんとこな』のドラマはデータソースとして使用することである。

本研究ではサポートとした文献人類学を使用することによる人間と文化の関わりを分析することであり、ミザンセーヌの理論も使用する。本研究では歌舞伎の権門の家族における継承の伝統に焦点を当てていることである。

結果はこのドラマにおける歌舞伎の継承が二つの相違がある。それは家族に直系尊属によって継承であり、家族に直系尊属の以外に継承である。